

“北海道の国際航空貨物を担う”

# 輸出拠点の強化に向けて

---

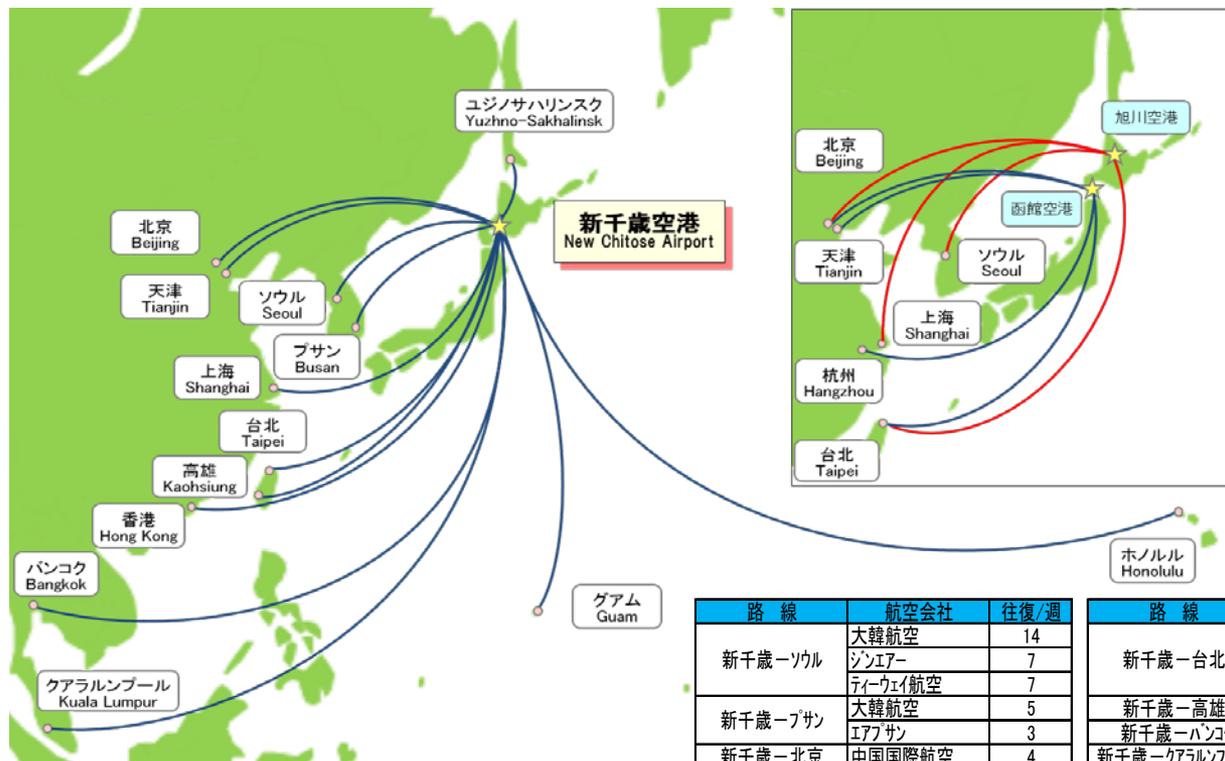
平成27年12月8日

北海道総合政策部航空局

# 1 北海道における国際定期路線の状況

- 2020年に向け、我が国が訪日外国人旅行者数2000万人を目指すなど観光立国の積極的推進を図る中、本道においては、外国人観光客300万人の実現に向けオール北海道での取組を進めている。
- 道内空港における国際定期路線は、この5年間新規就航が相次ぎ、東アジア諸国・地域を中心として、現在、21路線153便が就航しており、それに伴い、航空旅客便による貨物輸送網も充実してきている。

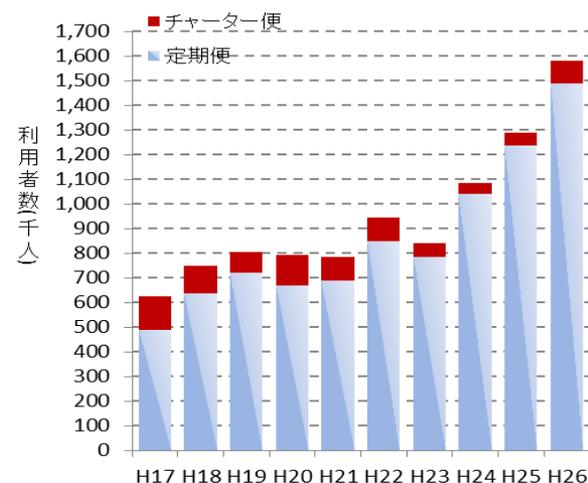
■国際定期路線の開設状況



路線	航空会社	往復/週
新千歳-ソウル	大韓航空	14
	ジンエアー	7
	タイウエイ航空	7
新千歳-プサン	大韓航空	5
	エアソウル	3
新千歳-北京	中国国際航空	4
新千歳-天津	天津航空	2
新千歳-上海	中国東方航空	5
	春秋航空	5
新千歳-香港	キャセイパシフィック航空	14
	香港航空	5

路線	航空会社	往復/週
新千歳-台北	エバー航空	14
	チャイナエアライン	7
新千歳-高雄	チャイナエアライン	5
	トランスアジア航空	7
新千歳-バンコク	タイ国際航空	4
新千歳-クアラルンプール	エアアジアX	4
新千歳-グアム	ユナイテッド航空	2
新千歳-ホノルル	ハワイアン航空	3
新千歳-ユジノサハリンスク	オーロラ航空	2

■国際線の利用状況 (新千歳空港)



(平成27年12月現在)

路線	航空会社	往復/週
函館-北京	中国国際航空	2
函館-杭州	中国東方航空	2
函館-天津	天津航空	2
函館-台北	トランスアジア航空	3
旭川-ソウル	エバー航空	6
旭川-北京	アジア航空	2
旭川-上海	中国東方航空	3
旭川-台北	トランスアジア航空	2
旭川-台北	エバー航空	4
旭川-台北	エバー航空	2

○ 新千歳空港の国際化に伴い国際航空貨物の荷役・保管・運搬業務を専門に取扱う第3セクターとして、昭和61年7月に設立し、今年で29年目を迎える。

(1) 会社概要

出資者：北海道、札幌市、政策投資銀行、北洋銀行、伊藤組(株)等  
 主な事業：・国際航空貨物の取扱、荷役、保管及び運搬  
 ・国際航空貨物検査等業務



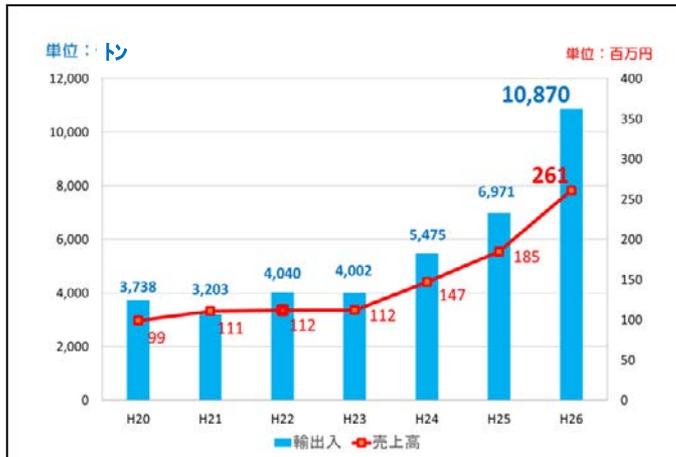
(2) 取扱状況

最近の年間輸出入取扱高は、アジア・中国などの景気の向上から生鮮食品の輸出が急増。輸入は微増の傾向。平成26年度では、輸出が7,260ト、輸入が3,610トで初めて取扱量が1万ト超。活ホタテの輸出の急増が大きく影響。

(3) 経営状況

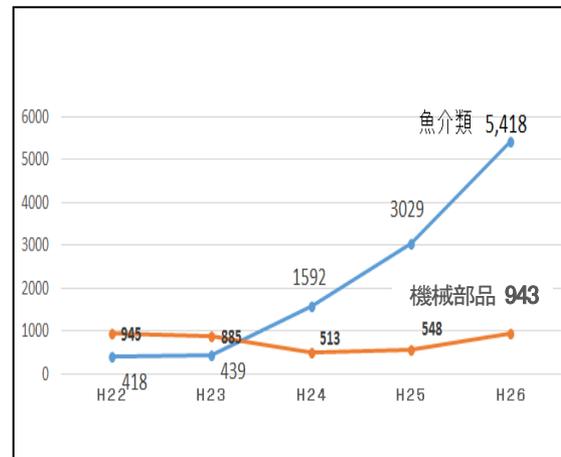
平成21年以降の輸出の急増以降、売上高、経常利益が順調に伸びている。平成26年度では、活ホタテの輸出増により、売上高261百万円で対前年比141%となっている。

■ 売上高・取扱高推移 (H20~26年)



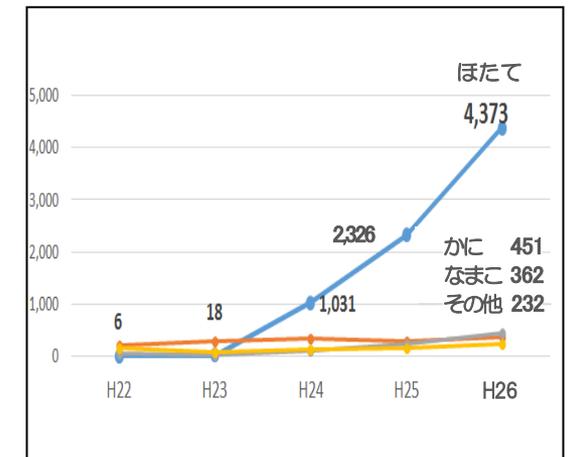
■ 輸出主要2品目の推移

(単位：ト)



■ 魚介類の内訳と推移

(単位：ト)



### 3 北海道の食品輸出の現況と今後の目標

○ 北海道の食品輸出額は、平成21年の331億円から平成26年663億円と5年間でほぼ倍増。  
北海道が策定中の「北海道食の輸出拡大戦略（案）」では、**平成30年までに1000億円**の輸出を目標。

(1) 北海道食の輸出拡大戦略（案）

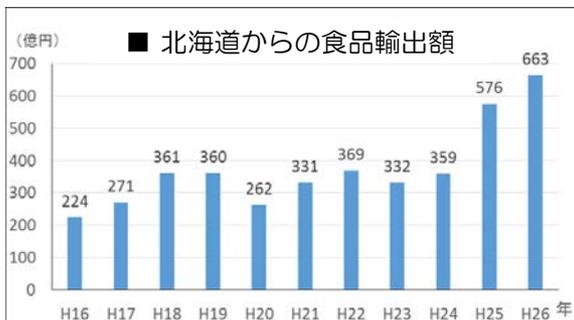
趣 旨：人口減少問題に対処し、世界に輝く北海道の実現に向け、アジア等の成長活力を取り込むことによる力強い地域経済の構築

(2) 基本戦略

戦略Ⅰ 商流・物流網の整備      戦略Ⅱ 輸出支援体制の確立      戦略Ⅲ 新たな市場への展開

(3) 重点品目：水産物・水産加工品（ホタテ、サケ、高次加工品、高鮮度商材）、農畜産物・農畜産加工品（コメ、青果物、牛肉）、その他加工食品（菓子類、機能性食品）

重点国・地域：ASEAN（主要6か国）、中国、香港、台湾、韓国、EU、中東、アメリカ等



■ 品目別輸出額 (H26年、単位：億円)

区分	輸出額	備考(主なもの)
水産物	467	
ホタテガイ(冷凍)	293	
サケ(冷凍)	97	
その他の水産物	77	スケトウダラ(冷凍)21億円
水産加工品	146	
ナマコ(乾燥以外)	70	
ナマコ(乾燥)	48	
その他水産加工品	28	
水産物・水産加工品 計	613	
農畜産物・農畜産加工品 計	25	ナガイモ15億円
その他の加工食品 計	25	チョコレート 8億円
合計	663	

■ 国・地域別輸出額 (H26年、単位：億円)

国(地域)	輸出額	主な輸出品
①中国	242	ホタテガイ(冷凍)、サケ(冷凍)
②香港	146	ナマコ、LL牛乳
③ベトナム	88	ホタテガイ(冷凍)、サケ(冷凍)
④アメリカ	87	ホタテガイ(冷凍)、ナガイモ
⑤台湾	26	ナガイモ、ホタテガイ(冷凍)

## 4 SIACTの機能拡充に向けて

### 【SIACTに期待する機能】

- SIACTの年間取扱量は1万トンを超過し、取扱いのピーク時には保税上屋の輸出エリアが限界に達しており、今後の輸出拡大に伴う取扱量の増加に対応するには、施設の拡充が課題となっている。
- 食品輸出の拡大に伴い、SIACTにおいては、荷役・保管業務機能の向上、鮮度保持等付加価値のある業務サービスの展開、セールス機能の充実などを図り、北海道の食の輸出の拡大に貢献することが期待されている。  
⇒保冷水槽貸出し、冷蔵・冷凍庫の拡充、渉外機能の充実など
- 施設のスペース拡充については、今後、多様な観点から検討し、空港内隣接用地等を活用するなど、現施設を大幅に拡張したスペースを確保することが必要と考えられる。

